

## メールマガジン

展覧会のご案内や見所紹介、美術をめぐるエピソードなどを掲載したメールマガジンをお送りいたします。(随時配信、字数は2000字以内)



### 登録方法

携帯電話・スマートフォンやパソコンから [art@fujibi.or.jp](mailto:art@fujibi.or.jp) (半角に直して送信ください)宛に空メールをお送りください。

### 登録特典

ご登録者および同伴者5名様まで割引料金でご入館いただけます。

※携帯電話・スマートフォンの場合は配信されたメールマガジン本文の画面を美術館受付でご呈示ください。パソコンをご利用の方は、配信されたメールマガジン本文をプリントアウトして、ご持参ください。割引券と同様の扱いとさせていただきます。

## キッズルーム



主に未就学児のお子様を対象にした絵本や玩具があり、小さなお子様を連れての来館でも安心してゆっくりとくつろぐことができます。個室の授乳室も完備しております。

## ラウンジ

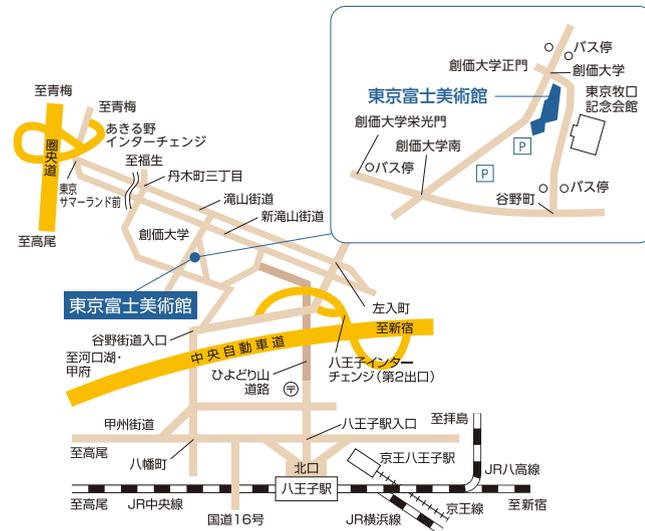


イス50席、給茶機(無料)を設置しております。美術鑑賞のひとつにご利用ください。(なお衛生上、ラウンジ内でのお食事はご遠慮いただいております。)

## INFORMATION

**開館時間** 10:00~17:00(16:30受付終了)  
**休館日** 月曜日(祝日の場合は開館、翌火曜日が振替休館)、展示替え、年末年始  
**入館料** 展覧会ごとに異なります

### MAP



### ACCESS

#### JR八王子駅北口・西東京バス12番のりばより

(始発から12:27発までは14番のりば)

- 創価大正門東京富士美術館行き
  - 創価大学循環
- ※一部ダイヤが変更する場合があります。

#### 京王八王子駅・西東京バス4番のりばより

- 創価大正門東京富士美術館行き
- 創価大学循環

### お車

#### 中央高速八王子インターチェンジ

第2出口より八王子市街方面へ進み国道16号に合流、三つ目の信号を右折(谷野街道入口)、直進し二つ目の信号(谷野町)を右折

TOKYO FUJI ART MUSEUM  
**東京富士美術館**

住所 〒192-0016 東京都八王子市谷野町 492-1

TEL 042-691-4511

ホームページ [www.fujibi.or.jp](http://www.fujibi.or.jp)

携帯サイト [www.fujibi.or.jp/mobile/](http://www.fujibi.or.jp/mobile/)

公式Facebookページ [www.facebook.com/fujibi](http://www.facebook.com/fujibi)

公式Twitter [@tokyofujibi](https://twitter.com/tokyofujibi)



Facebook

TOKYO FUJI ART MUSEUM  
**東京富士美術館**

2016.4 ~ 2017.3 展示スケジュール

# TOKYO FUJI ART MUSEUM EXHIBITIONS SCHEDULE

## アートパスポート



東京富士美術館で発行するアートパスポートは、発行日より1年間お好きなときにご利用いただけるフリーパスカードです。

- ① 1年間、何度でもご入場できます
- ② 同伴5名様まで割引料金になります
- ③ お申し込みの方に、記念品をプレゼント

## カフェレストラン・セーナ

カジュアルな創作フレンチやパティシエ手作りスイーツ、焼きたてパンもお届けいたします。美術館の展覧会と連動したメニューもお楽しみいただけます。



お問い合わせ

東京富士美術館・セーナ  
E-mail [toiawase@fujibi.or.jp](mailto:toiawase@fujibi.or.jp) (半角に直して送信ください)  
TEL 050-5520-7671

## ミュージアムショップ

東京富士美術館オリジナルグッズ、雑貨やおしゃれなアクセサリ等、楽しいグッズを取り揃えています。ミュージアムショップは新館エントランスホールにあります。皆様のお越しをお待ちしております。



東京富士美術館所蔵名品公開 ザ★刀剣 — 千年の匠の技と美

プリンス & プリンセス — 語り継がれる幸せの言葉

漢字三千年 — 漢字の歴史と美

とことんみせます! 富士美の西洋絵画 — 開館以来、最大級規模の西洋絵画展

東京富士美術館所蔵名品公開  
ザ★刀剣 — 千年の匠の技と美

3|29<sup>火</sup> → 7|3<sup>日</sup>

※展示替え5/16(月)17(火)

一千有余年の伝統を持つ世界に誇る日本独自の美—日本刀。近年注目が集まる一方で、本来の美を楽しむには少しばかりコツが必要です。本展では平安時代から現代までの約40振を中心に、所蔵の名品をご紹介します。比較展示や体験展示により刃文の美を鑑賞し楽しんでいただくとともに、屏風や絵巻、浮世絵などの合戦絵・武者絵も展示します。



《太刀 —文字》[重要文化財](部分)  
鎌倉時代中期 長72.0cm、反2.2cm

ブラジルの風景

夏休み企画 プリンセス & プリンセス  
— 語り継がれる幸せの言葉

7|16<sup>土</sup> → 10|2<sup>日</sup>

シンデレラ、白雪姫、眠れる森の美女など物語の世界と、ナポレオンとジョゼフィーヌ、エリザベス女王、ダイアナ妃など実在のプリンス&プリンセスを、挿絵、絵画、写真、服飾・宝飾品などで紹介します。私たちに夢と希望を与えるプリンス&プリンセスの魅力を物語と実写の両方からお楽しみください。



《ダイアナ妃ウェディングドレス》  
1981年

プリンス & プリンセス

海外文化交流特別展 漢字三千年  
— 漢字の歴史と美

10|20<sup>木</sup> → 12|4<sup>日</sup>

「漢字」は、中国文明の中で生まれた古代文字でありながら、誕生以来3000年の長きにわたって、人々に愛され使われ続けています。その時代に最もふさわしい形で表現され、読みやすさや書きやすさ、そして美しさを模索され発展してきました。本展では、最古の漢字といわれる甲骨文字をはじめ、文字の統一を果たした秦時代の漢字、世界最古の紙・筆、漢字が記された文物を展観するとともに、漢字が芸術の域までに高められた王羲之、顔真卿など歴代の名書作品、歴史上の人物が書いた書作品など公開する予定です。あわせて漢字にまつわるエピソードを紹介し、「漢字」の歴史と美の変遷を探ります。古今東西、他に類を見ない「漢字ワールド」をお楽しみください。

中国の美しい風景

「タヴォラ・ドーリア」

とことんみせます! 富士美の西洋絵画  
— 開館以来、最大級規模の西洋絵画展

2017  
1|5<sup>木</sup> → 3|20<sup>月・祝</sup>

本展では新館・本館双方の展示室を使い、東京富士美術館開館以来、最大級規模となる約150点に及ぶ当館所蔵の西洋絵画を一挙展覧いたします。西洋絵画史500年の流れと各時代のトピック・エピソードなどをまじえて、当館が誇る西洋絵画コレクションの魅力をも「とことん」紹介していきます。



《浴後の女》 ピエール＝オーギュスト・ルノワール  
1896年 油彩、カンヴァス  
118.0×89.5cm

とことんみせます! 富士美の西洋絵画 — 開館以来、最大級規模の西洋絵画展

改修工事のため全館休館 12|12 ↓ 1|4

本館 企画展示室

新館 常設展示室

【写真コレクション特集】

■ ブラジルの風景 常設展示室 7(8)

3|29<sup>火</sup> → 7|3<sup>日</sup> ※展示替え5/16(月)

2016年8月にリオデジャネイロで開催するオリンピックにあわせ、ブラジルの風景写真を展示。

【常設展示】

■ ルネサンスから20世紀まで 常設展示室 1~6

3|29<sup>火</sup> → 7|3<sup>日</sup>

【写真コレクション特集】

■ プリンセス & プリンセス 常設展示室 7

7|16<sup>土</sup> → 10|10<sup>月・祝</sup> ※展示替え8/29(月)

19世紀から20世紀のヨーロッパやアジア各地のプリンスやプリンセスの肖像写真、王室関連の写真を紹介。

【常設展示】

■ ルネサンスから20世紀まで 常設展示室 1~6

7|16<sup>土</sup> → 10|10<sup>月・祝</sup>

【写真コレクション特集】

■ 中国の美しい風景 常設展示室 7

10|20<sup>木</sup> → 12|11<sup>日</sup>

広大な中国各地の風光明媚な情景を、貴重な19世紀から20世紀初頭のヴィンテージ作品を中心に展示。

【常設展示】

■ ルネサンスから20世紀まで 常設展示室 1~6

10|20<sup>木</sup> → 12|11<sup>日</sup>

とことんみせます! 富士美の西洋絵画  
— 開館以来、最大級規模の西洋絵画展

2017  
1|5<sup>木</sup> → 3|20<sup>月・祝</sup>

常設展示室 1~7

■ 「タヴォラ・ドーリア」 常設展示室 8

2017  
6|4<sup>土</sup> → 5月(予定)

作者不詳(レオナルド・ダ・ヴィンチに基づく)  
《タヴォラ・ドーリア》(《アンギアーリの戦い》の軍旗争奪場面) 16世紀前半 油彩とテンペラ、板 85.5×115.5cm フィレンツェ、ウフィツィ美術館(2012年東京富士美術館より寄贈)



【特別展示】